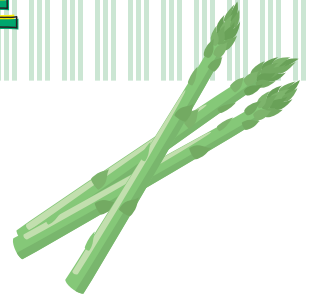


# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 野菜の仲間では珍しい永年性作物 ～アスパラガス～



アスパラガスは、植え付け後2年目から収穫が始まり、10年ほど収穫し続けられます。前年からたくわえた太い根株から芽を出した若茎を食べます。タンパク質、葉酸、ビタミン各種、食物繊維が多く、高血圧予防のルチンも含まれます。

図 1 作型目安

	作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アスパラガス	1年目			●	●								
	2年目			▲	▲		★	●	●				■
	3年目		●	●	■	■	■	■	■	★	●		■
	4年目		●	●	■	■	■	■	■	★	●		■

● 播種 ▲ 定植 ★ 支柱立て ● 追肥・中耕・土寄せ ■ 刈取り ■ 収穫

### 栽培のポイント

- ・ 深根性で根茎は強大なので、排水が良く耕土の深い土壤が最適です。土づくりをしっかり行いましょう。
- ・ 2年目までは株の充実を図り、新芽の刈り取りと茎葉管理を上手に行いましょう。

1年目	種まき	種をまく前に、ぬるま湯に一昼夜浸種します。 育苗箱やポットにまくときは、市販の種まき培土を使い、1穴に2～3粒種をまきます。多い本数を育てる場合は、苗床に条間20㎝間隔にくぼみをつけ、株間15㎝間隔に2～3粒ずつまきます。草丈が10㎝位になったら、1カ所1本に間引きします。間引き後、ポットの場合は化成肥料をひとつまみほど、苗床の場合は50g/㎡程度施します。
2年目	畑の準備	植え付けの2週間前に苦土石灰100g/㎡を施し、深さ30㎝位までよく耕します。 さらに1週間前には、堆肥1t/㎡と化成肥料（畑作名人N:P:K=13:13:13）100g/㎡を施しよく耕します。
	植え付け	ポット苗を植え付ける場合、畝幅60～110㎝とし、畝の中央に植穴を掘り、株間50㎝間隔で植え付けます。市販の大苗を植える場合は、根を放射線状に広げて、埋められる大きさの穴と苗の上部が5㎝程埋まる深さに穴を掘り、根を放射線状に広げて植え付けます。 植え付け後はたっぷり水やりをします。また、苗が草に負けないようにこまめに除草します。 土の乾燥と株の凍結を防ぐため、籾殻やワラなどを掛けておきます。
2年目以降繰り返し	支柱立て	6月～7月にかけて株の両側に支柱を立てて、苗が倒れないようにヒモなどを張ります。
	追肥・中耕・土寄せ	植え付け1年目の6月頃には、畝の肩に化成肥料100g/㎡を施し、土寄せをします。 植え付け2年目の2～3月頃には、株の両端に20㎝程の溝を掘り、堆肥1t/㎡と化成肥料100g/㎡を施します。 これ以降は、収穫後と翌年2～3月頃に畝の肩に化成肥料100g/㎡を施します。
	病害虫防除	梅雨の時期などに茎枯病が発生する場合があります。ひどい場合は薬剤散布で早期防除を心掛けましょう。
	冬の管理	12月に入り茎葉が枯れたら地上部の茎葉を刈り取り持ち出して処分します。ここで消毒のため残茎や地表面をバーナーなどで焼いておくことさらによいです。その後株の周りに堆肥（1株当たりバケツ半分くらい）を施します。
	収穫	4月～5月にかけて伸びてきた若芽を地際から切り取り収穫します。6月に入り、まだ強い芽が出ている間に収穫を打ち切り、残った芽を成長させ、株に来年の養分を蓄積させましょう。
収穫後の管理	茎は1株に10～12本程度残し、来年のために株を充実させます。一方、収穫が終わってから出る細い茎は地際からはさみで切って整理します。夏から冬にかけて毎年同じ管理をします。	

【ホワイトアスパラガスの作り方】 芽が出始めた時に土寄せをすると芽が白くなります。  
家庭菜園ではブリキバケツを被せるだけで簡単に作れます。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC（タック）までご連絡ください。